

様式 2

県立高等学校重点校制度に係る成果報告書

学校名 鳥取緑風高等学校

重点項目	特別支援教育	提出日	令和5年3月28日
------	--------	-----	-----------

1 学校目標	
(1) 基本的な生活習慣の確立による、生徒の自己管理能力の育成 (2) 夢と希望を持ち、世界を広げていくことのできる生徒の育成 (3) 社会のルールやマナーを遵守する生徒の育成 (4) 基礎・基本の重視による、生徒一人一人の学力の向上 (5) 生徒が将来の生き方を意識する進路指導の充実 (6) 自律性を伴った、生徒の自主性の育成 (7) 自然環境について考え、行動することのできる生徒の育成	
2 重点項目に係る目標・成果	
目標	成果
○基本的な生活習慣の定着を促す指導・支援の充実 ○目標：個々の生徒の課題に向き合い、自立と成長を促す指導の充実。 <数値目標> 学校評価アンケート（生徒）75%以上 ・挨拶や時間を守る、身の回りの美化に心がける ・ルールやマナーを意識した行動を心がける ・授業は工夫されて、わかりやすい ・先生は、質問や相談に丁寧に応じてくれる ・鳥取緑風高校は、安心して通える学校だ 学校評価アンケート（保護者）75%以上 ・生活習慣の定着に力を入れている ・ルールやマナーについて意識させる指導を行っている ・学習方法を工夫して、学力の向上に努めている ・先生は、質問や相談に丁寧に応じてくれる ・全生徒に対して、担任等による面談を年3回以上実施。	<数値結果> （生徒） ①挨拶や時間を守る、身の回りの美化に心がける ➡95.9% ②ルールやマナーを意識した行動を心がける ➡96.0% ③授業は工夫されて、わかりやすい ➡93.9% ④先生は、質問や相談に丁寧に応じてくれる ➡95.3% ⑤鳥取緑風高校は、安心して通える学校だ ➡92.6% （保護者） ⑥生活習慣の定着に力を入れている ➡87.5% ⑦ルールやマナーについて意識させる指導を行っている ➡89.1% ⑧学習方法を工夫して、学力の向上に努めている ➡93.7% ⑨先生は、質問や相談に丁寧に応じてくれる ➡92.2% ⑩担任等による面談 ➡3回以上達成 ○最終評価で生徒、保護者ともすべての項目で8割以上の肯定回答が得られ、生徒については5項目すべて9割を超えた。年度内の取り組みによる成果が見られた。

	○担任面談3回以上に加え、1・2年生にはSCによる定期面談も実施した。そのほか進路指導担当やCA、SSW、関係職員による面談を実施し、生徒の安心した生活への支援となった。
3 実施事業	
<p><b>【高等学校課事業】</b></p> <p>○特別支援教育充実事業（「高校における通級による指導」設置校）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「高校における通級による指導」の実践と研究の継続（個に応じた自立活動の指導方法及び教材の研究・開発等）</li> <li>・外部講師を招聘しての校内職員研修会や県内外の研修会参加</li> <li>・ユニバーサルデザインの授業づくり・学習環境整備</li> </ul> <p>○社会人講師活用事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外部から有識者を招き、社会的自立に向けた学習を支援</li> </ul> <p>○ふるさとキャリア教育充実事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア・パスポート（ポートフォリオ）の活用と生徒個々に応じたキャリア発達の促進</li> </ul> <p><b>【独自事業】</b></p> <p>○心とからだのケア支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的生活習慣定着の支援、緑風応援食堂、夜間給食（夜間部）、「性に関する指導講演会」等による基本的生活習慣の改善と健全化</li> <li>・精神科医、学校医による生徒及び保護者への健康に係る指導助言</li> </ul> <p>○緑風ハートフル事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏季校外体験、冬季スキー体験及び校内創作体験活動</li> </ul> <p>○基礎学力育成のための支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT活用によるわかりやすい授業と自学自習教材の工夫</li> <li>・緑風ソシオ（大学生ボランティア）による授業等の支援</li> </ul> <p>○生活の自立を目指す体験活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元食材を用いた料理講習、テーブルマナー講習等</li> <li>・外部講師を活用した社会生活を送るための知識・技術習得の支援</li> </ul> <p>○通信制社会力育成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生き方・マナーなどキャリア形成に関する講演や、社会的文化的体験活動の実施</li> <li>・臨床心理、福祉の専門家を交えた生徒支援に関する事例検討会の実施</li> <li>・先進校視察（宮城県美田園高校・福島県郡山萌世高校）</li> </ul>	
4 総合所見（成果・評価）	
<p>本校生徒の実態を踏まえ、数値目標を10項目あげ、①～⑩の結果のとおりほぼ目標を達成できた。上記3の事業は、新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかった県外研修会参加、一部の先進校視察を除きほぼ実施し、生徒の指導・支援にいかすことができた。生徒の学習歴や生育歴や、個々の課題、必要なサポートは多様であり苦慮しているが、きめ細かな対応を促進した成果であると感じる。数値目標は達成しているが、さらに生徒の実態を把握し、個別最適な支援、指導のため取り組みをに工夫し、生徒間の関係を育んだり、自己肯定感を高めたりすることに努め、生徒が安心してチャレンジし、輝ける場面を作り自立と成長を促していきたい。</p>	

※枚数任意